

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 8 日 (2020.10.8)

【公開番号】特開 2019-93107 (P2019-93107A)

【公開日】令和 1 年 6 月 20 日 (2019.6.20)

【年通号数】公開・登録公報 2019-023

【出願番号】特願 2018-130569 (P2018-130569)

【国際特許分類】

A 6 3 B 53/06 (2015.01)

A 6 3 B 53/04 (2015.01)

A 6 3 B 60/02 (2015.01)

A 6 3 B 102/32 (2015.01)

【F I】

A 6 3 B 53/06 B

A 6 3 B 53/04 B

A 6 3 B 53/04 D

A 6 3 B 60/02

A 6 3 B 102:32

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 24 日 (2020.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ソール部、フェース部、及びクラウン部を有する中空のボディ部を有し、

前記ソール部は、

前記ソール部の面に形成された外側凹部と、

前記外側凹部の底面に形成された内側凹部と、

前記内側凹部の底面に形成された穴の奥側に設けられており、前記ソール部に着脱可能に設けられた錘に形成された雄ねじ部が螺合する雌ねじ部が内側面に形成されている固定部と、

を有することを特徴とするゴルフクラブヘッド。

【請求項 2】

前記錘は、前記ソール部の前後方向における中心の位置よりも後方の位置に設けられていることを特徴とする、

請求項 1 に記載のゴルフクラブヘッド。

【請求項 3】

前記穴は、重さ及び形状のうちの少なくとも一つがそれぞれ異なる複数の前記錘から選択された一つの前記錘を固定可能である、

請求項 1 又は 2 に記載のゴルフクラブヘッド。

【請求項 4】

前記錘は、

前記ソール部に形成されている穴に固定可能な錘固定部と、

前記錘固定部に固定可能な錘本体と、

を有することを特徴とする、

請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のゴルフクラブヘッド。

【請求項 5】

前記錘固定部は、重さ及び形状のうちの少なくとも一つがそれぞれ異なる複数の前記錘本体から選択された一つの前記錘本体を固定可能である、

請求項 4 に記載のゴルフクラブヘッド。

【請求項 6】

前記錘本体は、

前記錘本体の上部に位置する頭部と、

前記頭部の下端に設けられており、かつ前記錘固定部に固定可能な錘本体固定部と、
を有することを特徴とする、

請求項 4 又は 5 に記載のゴルフクラブヘッド。

【請求項 7】

前記ボディ部は、チタン、チタン合金、アルミニウム、アルミニウム合金、マグネシウム、マグネシウム合金、複合材料、及びカーボンのうちの少なくとも一つからなり、

前記錘は、前記ボディ部よりも比重が大きい金属により形成されていることを特徴とする、

請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のゴルフクラブヘッド。

【請求項 8】

請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載のゴルフクラブヘッドに装着可能な複数の錘から構成される錘セットであって、

前記複数の錘それぞれは、

前記ソール部に形成されている穴に固定可能であり、かつ下端に第 1 凹部が形成されている錘固定部と、

前記錘固定部に固定可能であり、かつ上端に前記第 1 凹部と同じ形状である第 2 凹部が形成されている錘本体と、

を有する錘セット。

【請求項 9】

ソール部、フェース部、及びクラウン部を有する中空のボディ部を準備するボディ部準備ステップと、

前記フェース部のインパクトエリアの後方に位置し、かつ前記ソール部に着脱可能に設けられた、重さ及び形状のうちの少なくとも一つがそれぞれ異なる複数の錘から選択された錘を準備する錘準備ステップと、

前記錘を前記ソール部に形成されている穴に固定するステップと、

を有し、

前記ソール部は、

前記ソール部の面に形成された外側凹部と、

前記外側凹部の底面に形成された内側凹部と、

前記内側凹部の底面に形成された前記穴の奥側に設けられており、前記錘に形成された雄ねじ部が螺合する雌ねじ部が内側面に形成されている固定部と、

を有することを特徴とするゴルフクラブヘッドの製造方法。